一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 100 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日 時：2024年11月12日（火）13：30 ～ 15：15

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員） 佐々木部会長，宮澤副部会長，藤原幹事，浅野，生田，生駒，石原，井原，菊池，小澤，小松原，齊藤，坂井，高橋(浩)，立川，中島(健)，花山，山本(武)，山本(正)（19名）

（欠席委員） 飯田，白井，柳原（3名）

（委員候補） 浅見光史（海上，港湾，航空技術研究所），福元謙一（福井大学）（2名）

（常時参加者） 酒井，佐藤，田村，古田（4名）

（欠席常時参加者） 大塚（1名）

（説明者）【ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会】高橋(聡)幹事

【LLW 放射能評価分科会】田村幹事，駒月委員，中島(一)委員

【輸送容器分科会】海老原幹事（延べ5名）

（事務局）大沼，正岡，平野（3名）

4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員 22 名中，18 名が出席しており，成立に必要な定足数（15 名以上）を満足している旨が報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（FTC100-1）

前回議事録（案）について，事前に配付されていた資料 FTC100-1 にて，承認された。

(2) 人事（FTC100-2）

事務局から FTC100-2 に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，委員の退任等が確認され，審議の結果，委員の選任・承認等が決議された。

委員選任された浅見様，福元様からご挨拶をいただいた。

【専門部会】

◆ 決議事項

(1) 委員選任

浅見 光史	海上・港湾・航空技術研究所
福元 謙一	福井大学
伊藤 剛	日立 GE ニュークリア・エナジー

(2) 委員再任

小松原 勝	東芝エネルギーシステムズ	2025.03～2027.02

◇ 確認事項

(1) 委員退任

高橋 秀治	東京工業大学	2024.08.31

【分科会】

○輸送容器分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

坂本 幸夫   アトックス
山田 晃司   関西電力

◇確認事項

(1)常時参加者登録承認

高田 治   日本原子力発電

○LLW 廃棄体等製作・管理分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

棕木 敦   日揮
岸下 清一   日本原子力発電
大杉 武史   日本原子力研究開発機構

◇確認事項

(1)委員退任

柏木 誠   日揮   2024.03.31
高崎 伸朗   日本原子力発電   2024.06.30
佐々木 紀樹   日本原子力研究開発機構   2024.11.05

(2)常時参加者登録解除

小林 大和   北海道電力   2024.10.16

(3)常時参加者登録承認

山崎 寛之   原燃輸送
東出 哲也   原燃輸送
内田 昇吾   日揮
柏木 誠   日揮
中浜 智志   北海道電力

(4)主査退任

柳原 敏   福井大学   2024.11.05

(5)主査選任

福元 謙一   福井大学   2024.11.05～2026.11.05

○LLW 放射能評価分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

中島 一雄   日揮
見付 樹大   日本原燃
駒月 誠治   中部電力

◇確認事項

(1)委員退任

柏木 誠   日揮   2024.03.31
小澤 孝   日本原燃   2024.07.01

(2)常時参加者登録解除

高橋 純平   中部電力   2024.08.26
林 宏一   日本原子力研究開発機構   2024.07.23
大野 央貴   中国電力   2024.07.17
見付 樹大   日本原燃   2024.07.01

(3)常時参加者登録承認

宇田 俊秋   中部電力
高木 勇二   中国電力
柏木 誠   日揮

○LLW 処分安全評価分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録承認

稲井 隆将 東電設計

○臨界安全管理分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録承認

生南 貴浩 原燃輸送

(3)【報告・審議】(FTC100-3-1~5)

“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（改定案）標準委員会の書面投票結果及びご意見に対する回答について

(担当：事務局，ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会 高橋幹事)

事務局から資料FTC100-3-1に基づき，題記に関する標準委員会書面投票の結果，可決となり，5名の委員から意見があった旨の説明があった。引き続き，説明者から資料FTC100-3-2~5に基づき，意見への対応が説明され，審議の結果，この内容で次回の標準委員会へ報告することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(4)【報告・審議】(FTC100-4-1~2)

趣意書「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順：2019 (AESJ-SC-F015：2019)」の改定について

(担当:LLW 放射能評価分科会 田村幹事，駒月委員，中島委員)

説明者から資料に基づき，題記標準の改定計画について説明があり，審議の結果，この内容で次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：作業会にNRAも加わるのは，委員としてではなく，常時参加者として参加するのか。

A：現時点では常時参加者の位置づけで参加いただくことになる。

C：委員としてではなく常時参加者として参加するが，手続き等については，今後，学会からNRAへの正式な申入れ後に，学会事務局とNRAで調整していくことになる。

Q：作業会の構成として常時参加者は認められているか。

A：専門部会運営細則にて分科会と同様の構成が認められている。

C：作業会は効率的な検討のために，対面開催を基本とするのがよい。

Q：標準全体（附属書含む）をエンドース対象とするか，新規附属書を対象とするか。

A：現時点では，本文及び新規附属書(規定)を主な対象と考えている。検討していく中で，より詳細な内容を記載する他の附属書も対象になる場合も考えられる。

C：添付3の意見の集約に関し，いい意見を引き出せるような問いかけを工夫してほしい。

A：できるだけ論点を絞って意見の集約を行いたい。

(5)【報告】(FTC100-5)

標準策定5か年計画の更新（2025年度版作成）について

(担当：藤原幹事)

説明者から資料に基づき，標準策定5か年計画の更新(2025年度版作成)について説明があり，各分科会の検討を来年1月10日までに集約し，藤原幹事にて専門部会としてまとめることとした。

特に質疑，コメント等は無かった。

(6) 【報告】 (FTC100-6-1~2)

JIS Z 4001 の廃止への対応について

(担当：事務局)

事務局から資料に基づき、現在標準活動基本戦略タスクにおいて検討している状況について説明があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：官報に載って正式に廃止となるのはいつごろか。

A：当初は今年の秋ごろとされていたが、具体的には不明である。

Q：ほとんどの標準が最初の用語のところでJIS Z 4001を引用しているので、基本的にほとんどすべての標準に影響するということでしょうか。

A：記載されている標準はすべて影響がある。

(7) 【報告】 (FTC100-7)

倫理教育の実績について

(担当：藤原幹事)

説明者から資料に基づき、標準委員会での倫理教育の状況と、その後の専門部会、分科会での倫理教育の実績について説明があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：分科会レベルでの倫理教育では、意見交換・意見集約が必要か。

A：他の分科会に倣い、メールベースで結構なので、意見交換・意見集約をお願いしたい。

(補足：その結果を幹事まで連絡願いたい)

(8) 【報告】 (FTC100-8)

分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の活動状況について各分科会から説明があった。L L W廃棄体等製作・管理分科会においても、L L W放射能評価分科会と同様のN R Aも入った作業会を設置し、大型角型容器形態の廃棄体製作標準を策定していくことの報告があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

6. その他

(1) 第 100 回の節目にあたり、佐々木部会長からこれまでの検討への謝辞と、今後も引き続き協力いただきたい旨のご挨拶をいただいた。

(2) 本日が最後の出席となる浅野委員から退任のご挨拶をいただいた。

(3) 今後の予定

次回は、2025年2月6日(木)13:30からの開催に決定した。

【配付資料】

FTC100-0 第 100 回原子燃料サイクル専門部会議事次第

FTC100-1 第 99 回原子燃料サイクル専門部会議事録(案)

FTC100-2 人事について

FTC100-3-1 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”改定案に関する書面投票【SC24-05】の結果について

FTC100-3-2 標準委員会決議投票時のご意見に対する対応

FTC100-3-3 原子力学会標準課からの気付き事項リスト-1に対する対応

FTC100-3-4 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”(新旧比較表)

FTC100-3-5 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”(完本版案)

- FTC100-4-1 趣意書「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順：2019 (AESJ-SC-F015：2019)」の改定について（案）
- FTC100-4-2 L1 放射能評価標準の技術評価対応への振り返り（最終版）
- FTC100-5 原子燃料サイクル専門部会 標準策定5か年計画（2025年度版）
- FTC100-6-1 「標準作成ガイドライン：2020」における JIS Z 4001 廃止への対応について
- FTC100-6-2 “標準作成ガイドライン：202X”（改定案，JIS Z 4001 廃止関係抜粋）
- FTC100-7 2024年度標準委員会における倫理教育について
- FTC100-8 分科会の活動状況について

参考資料

- FTC100-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC100-参考2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

以 上